

第34期（2023年度）プロ・ナトゥーラ・ファンド助成  
国内研究助成申請書

新規申請・  継続申請 ←いずれかに○

1. タイトル

○○島に生息する絶滅危惧種XXXの現状調査と保全策の検討

日本語で、内容を簡潔に表現したものにしてください。

2. 申請団体

団体名	XXX研究グループ プロジェクトを行う <u>団体の名前</u> にしてください。大学名・学部名のみはNG。		
申請代表者 氏名	(フリガナ)シゼン タロウ	生年 月日	
	自然 太郎		
所属機関 ・役職	自然大学大学院自然研究科野生動物研究室 教授		
住所	〒 自宅か職場（または学校）の住所をお書きください。		
	いずれかに○→（自宅・○職場）		
電話	自宅・職場：連絡のつきやすい方の番号をお書きください。	携帯電話：	
e-mail	連絡は主にe-mailを用いますので連絡のつくアドレスをお知らせください。	URL	団体のサイトがある場合はURLをお書きください。

学生の場合は大学名と学年をお書きください。

3. 研究テーマの種類（複数選択可）

- 特定地域の生物、生態系、自然環境の基礎調査・研究
- 森林・干潟・藻場・河口域などの陸域、水域の適切な管理および保全に関する調査・研究
- 絶滅が危惧される動植物の調査・研究
- 国内に定着した外来種の調査・研究（国内外来種も含む）
- 現在起こっている自然保護問題の解決のための調査・研究
- 自然保護のための調査研究手法の開発・検証
- その他

4. プロジェクトの目的（200字程度）

本申請プロジェクトにおいて、何の保全を目指しているのか、何を解決しようとしているのか等、目的を明確にお書きください。

例) ○○島に生息する絶滅危惧種XXXの保全を目的として、◇◇の手法を用いて調査を行い、地域の自然保護活動に役立てる。

2年間の研究でも、助成金額は100万円上限です。

5. 助成申請額（支出計画書の金額から千円の位を四捨五入した金額）

100 万円

6. 助成期間（いずれかに○をつけてください）

1年間 ・  2年間

# プロジェクト計画書（1）

## 1. 研究課題の自然保護上の重要性

(1) 本研究課題における自然保護上の重要性について、要点を200字程度で枠内にお書きください。

XXXは、〇〇島にのみ生息する固有種であり、環境省レッドリストで絶滅危惧ⅠA類に指定されているが、近年開発により個体数は激減している。保全のために長期的な調査が必要とされている。

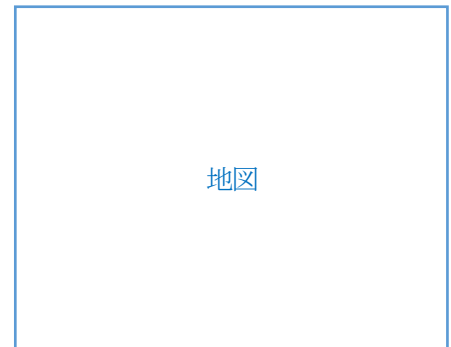
文字のフォントを大きくしたり、太字にしたりして、本申請のポイントが一目で明確にわかるよう、適宜工夫してください。

(2) 本研究課題に取り組むこととなった背景をお書きください。

XXXは、開発による生息環境の悪化により00年前から個体数が減少している・・・。

(3) 研究対象となる事物、地域の特徴等について、詳細をお書きください。可能であれば、研究対象地域の地図を添付してください。

XXXは～～～のような場所を好む習性があることから、調査は下記図の場所で重点的に行う。



(4) 昨年度からの継続申請の場合は、継続理由と前回からの変更点をお書きください。

【継続理由】

【前回からの変

### ※注意※

- フォントサイズは10ポイント以上でお書きください。
- 枠の位置やサイズの変更はしないでください。また、ページ数を増やすことはできません。
- 写真や図の挿入は可能ですが、モノクロ印刷で審査に付されるため、モノクロでも見分けの付く範囲内をお願いします。
- 字数制限はありませんので、ページ内であれば設問ごとに回答スペースを調整しても構いません。

各ページ毎に、設問に対する回答が収まるようにしてください。（この文章は削除の上、提出可）

## プロジェクト計画書 (2)

### 2. プロジェクトの計画

(1) 本研究の具体的な到達目標についてお書きください。  
最終的に××の取組を行い、保護システムを提案する・・・

又は、

目標① ○○○○・・・  
目標② △△△・・・

本プロジェクトの期間内における具体的な到達目標について具体的にお書きください。

(2) どのように上記の目標をクリアしていくのか、調査・研究手法をお書きください。

目標① ○○○○に関しては、  
現地調査にて、\*\*\*と\*\*\*を行い、XXXの####に関するデータを得る・・・

目標② △△△に関しては、  
前期分の成果を\*\*を用いて分析し、提案資料を作成する・・・

どのような方法でデータを取得し、分析し、問題を解決するのか、お書きください。

(3) 予算計画について、特記すべき点があればお書きください。「c. 委託費」、「d. 賃金・謝金」等の一つの費目への比重が大きい場合などは、その理由を説明してください。

調査地は離島のため、旅費の出費が多い。

- (3) の設問については、特記すべき事項がなければ空欄で結構です。その分 (1) と (2) の回答スペースを広げてお書きいただいても構いません。
- ただし、ページ数は増やさないでください。

各ページ毎に、設問に対する回答が収まるようにしてください。

## プロジェクト計画書 (3)

### 3. 期待される成果

(1) 本プロジェクトでどのような成果が期待されるか、要点を 100 字程度で簡潔にお書きください。

本研究でXXXに関する詳細情報を得ることで、具体的な保全策を提案することができ、個体数の回復に貢献することができる。

こちらも、フォントや文字の大きさを工夫して見やすくなるようにしてください。

(2) 本プロジェクトは、助成期間終了後どのような自然保護研究、あるいは自然保護活動に展開していくのかについて、具体的にお書きください。

本研究で得られた成果は、一般向けのパンフレットにまとめ、〇〇島の地元住民や〇〇島を訪れる観光客への普及啓発活動に役立てる。また、オンラインによるシンポジウムを開催し、より多くの市民へ働きかけていく…

学会や論文で発表する、だけではNG。具体的に、成果をどのような自然保護研究や活動の分野に活用していくか、今後の研究にどのように活かしていくかについてお書きください。

各ページ毎に、設問に対する回答が収まるようにしてください。

## 年間スケジュール・1年目

時期	内容とその詳細	助成金 支出概算
2023年10月	情報の収集、整理 ・XXXに関する情報の収集・整理を行う	器具・備品の購入 200,000円 消耗品費 7,000円
11月		
12月	第1回調査(x日間) ・調査に使用する**を購入 ・***と***を行う。	
2024年1月	・開発業者および自治体に意見書を提出する。	
2月	第2回調査(x日間) ・***と***の調査を行う	<div style="border: 2px solid orange; padding: 10px; margin: 10px;">                         大まかな支出概要で構いません。具体的な費目については支出計画書にお書きください。                     </div>
3月	<div style="border: 2px solid orange; padding: 5px; margin: 5px;">                             月をまたいで調査や分析の作業を行う場合は、↓でお示しください。                              行の高さは変更して構いませんが、ページは増やさないでください。                         </div>	
【1年間プロジェクト】中間報告書の提出		
4月		
5月		
6月		
7月		
8月		
9月		
【1年間プロジェクト】助成期間の終了／ 【2年間プロジェクト】中間報告書の提出		
10月		
11月	【1年間プロジェクト】成果報告書・会計報告書の提出	【1年間プロジェクト】成果発表会出席旅費※対面希望の場合計上してください。自己資金の場合は記載不要です。
12月		

## 年間スケジュール・2年目（2年プロジェクトの場合）

時期	内容とその詳細	助成金 支出概算
2025年1月		
2月		
3月		
4月		
5月		
6月		
7月		
8月		
9月		
<b>【2年間プロジェクト】助成期間の終了</b>		
10月		
11～12月	<b>【2年間プロジェクト】最終報告書の提出</b>	<b>【2年間プロジェクト】成果発表会出席旅費自己資金の場合は記載不要です。</b> 30,000円

2年申請をされる場合は、2024年10月以降のスケジュールもお書きください。

## グループの構成員

※グループの最低人数は3名とし、責任者・副責任者・会計責任者を必ず決めてください。代表者は副責任者または会計責任者を兼任しないでください。

役割	氏名	所属・役職	分担内容
責任者（申請者）	自然太郎	自然大学大学院・教授	採取したサンプルのXXX分析を担当
副責任者	●● ●●	自然大学大学院・博士後期課程1年	プロジェクトの中で、どのような業務を分担するのか記入してください。
会計責任者	●● ●●	自然大学	

申請者がその任を負えなくなったときに、このプロジェクト遂行の責任を負っていただける方を副責任者としてください。

大学の研究者が申請代表者となる場合、大学事務員を会計責任者とすることができます。ただし、申請グループの一員という扱いになるため、一般管理費（オーバーヘッド）の支出は認められません。大学への寄附手続きは当財団では行いません。会計処理が困難となる場合、可能であればグループ内で会計係を設けるようにしてください。

調査・研究体制や構成メンバーの専門性などについて、特記すべき点があればお書きください。

調査には野生動物研究室の学生が補助メンバーとして加わる

## これまでの研究実績・発表実績

申請代表者の略歴（過去を含めた所属先や最終学歴など）をお書きください。

XXXX年 自然大学大学院生物学研究科自然環境学専攻 博士後期課程修了（理学博士）

XXXX年 自然大学附属自然環境センター 研究員 着任

学生の方は、プロジェクトに関連する経歴について書いていただいても構いません。

本申請に関連する、代表的かつアクセス可能な研究実績・発表実績3件をお書きください。審査委員が参考にする場合があります。（申請代表者以外のプロジェクトメンバーのものでも可。）

a) 様式（論文の場合）：著者（発表年）。論文タイトル。雑誌名、巻（号）：初めのページ-終りのページ。

様式（書籍の場合）：著者（出版年）。タイトル。出版社。ページ数。

b) 様式（学会・シンポジウム等の発表）：発表者、「題目」、発表した学会名、論文等の番号、場所、発表年月日

c)

必ずしも申請代表者の実績である必要はありません。本申請の内容に関連するものに限りです。

## 助成金申請状況・資金計画

1. 当財団では、同様のテーマで複数の助成金を使って実施するプロジェクトには助成いたしません。  
 (ただし、他の助成金と研究・活動の範囲が明確に分かれている場合は、この限りではありません。)  
 現在、上述の重複助成に該当するテーマで他財団や公的機関の助成金を申請している場合は、以下に採択スケジュールの詳細を記載してください。採択が決定された場合は、必ず当財団に申し出てください。

機関名	テーマ	金額 (万円)	助成期間 (年月日)	採択結果通知時期 (年月日)
		科研費や他財団の助成金への申請は特に禁止していませんが、同様のテーマで重複して採択された場合は必ず当財団にご相談ください。		

2. 第34期プロ・ナトゥーラ・ファンド助成の別の申請に、構成メンバーとして参加していますか。  
 ※申請代表者は、他の申請プロジェクトにおいて申請代表者になることはできません。また、本申請グループが別のテーマで複数応募することもご遠慮ください。

カテゴリー名	タイトル

この申請書は、プロ・ナトゥーラ・ファンド助成の審査にのみ使用し、その他の目的では使用いたしません。

公益財団法人自然保護助成基金個人情報保護に関する基本方針に則り、適切に取り扱いたします。

各ページ毎に、設問に対する回答が収まるようにしてください(この文章は削除の上、提出可)。



# アンケート

(アンケートの記述のない申請書は受け付けません。記述内容は選考に影響しません。)

I 申請代表者の本助成への応募は何回目ですか。

初めて ・ 2回目 ・ 3回目 ・ 4回目以上

グループとしては応募経験あり ( ) 回 ←応募回数をお書き下さい。

II 過去に、申請代表者は本助成の助成金を得たことがありますか。ある場合は回数をお書き下さい。

ない ・ 1回 ・ 2回 ・ 3回 ・ 4回以上

グループとしては採択経験あり ( ) 回 ←これまでの採択回数をお書き下さい。

III 今回の助成の詳細は、何で知りましたか。○を付けてください。

※Webやメーリングリストの場合は、その具体的な名称もご記入ください。

当財団のWebページ/Facebook ・ 助成金情報サイト/メーリングリスト

友人/知人から ・ その他 ( )

【サイト名、メーリングリストの発信元などの具体的な名称】

IV 募集要項について、気になった点、わかりにくかった点があればお書き下さい。また、申請書で書きにくかった項目があればお書き下さい。

V プロ・ナトゥーラ・ファンド助成に関するご意見・ご要望があれば、お書き下さい。

VI プロ・ナトゥーラ・ファンド助成で、今後新たに取り組むと良いと思われる自然保護の課題があれば、お書き下さい。

ご協力ありがとうございました。